

## ワークショップ企画提案書

平成 23 年 11 月 19 日(土)に開催される、神奈川工科大学主催「安全安心社会をつくる情報技術シンポジウム 2011」(仮称)で、一般向けに研究活動を伝えるワークショップ企画を募集します。

募集締切：平成 23 年 8 月 16 日 お問い合わせ/提出先：sympo-eve@shirai.la

なお、開催時間は 14 時～16：30 の時間枠で、テーマは「安全安心」に限定しません。

### 1. 応募者情報

所属	情報 学部 情報メディア 学科
代表者氏名・職名	白井 暁彦 准教授
開催形式	2. [予約制] ものづくり教室 B(14:00～15:00), 3. [予約制] ものづくり教室 C(15:30～16:30), 4. [予約不要]ものづくり教室 D(14:00～16:30) , 5. [予約不要]ポスターおよび解説(14:00～16:30)

### 2. 企画概要

講座名	「放射能はオバケじゃない！ 霧箱制作で学ぶ自然放射線の可視化」		
対象 (該当するものを残して他を削除)	未就学児，幼児，小学校低学年，小学校高学年，中学生，家族連れ，高校生以上	定員	最大 20 名程度
ねらい (参加者へのメッセージ)	福島原発事故以降、目には見えない放射線の恐怖が私たちの生活を変えてきています。放射線のリスクは長年にわたり社会に影響を及ぼしますが、最も深刻な被害を受ける可能性がある子供たちは、この放射性物質の危険を正しく理解しているのでしょうか？このワークショップは、ガイガーカウンタと霧箱をつかい、放射性の可視化をテーマにものづくりの楽しさと科学を理解する視点の重要性を幅広い年齢に向けて伝えます。		

### 3. 実施の流れ・希望場所

実施の流れ	<予約不要のスタンド形式の実演と、霧箱制作体験の並列で実施する> 1. 完成した霧箱とガイガーカウンタ、ドライアイス、放射性鉱石(ラジウム)を使い、自然放射線、大気、原子力発電所と放射能拡散についての実演を行う。 2. 霧箱制作の希望者を募り、アシスタント中心で制作を行う(予約不要・20分程度) 3. 自然放射線の観察(ラジウム、ユークセン石、ラドン) 4. まとめ、写真撮影、片付け
希望場所	KAIT 工房の一角など、特に希望はありません。

### 4. 予算(わかる範囲、概算で構いません)

基本的な実験器具は研究室から提供します。

【実験器具】1 グループ(霧箱1セット)あたり 23,000 円×5セット

【消耗品】アルコール、ドライアイス、テープ類 1日あたり 10,000 円程度

【アシスタント】1 グループ当たり 1 名必要(準備含め時給 850 円で換算) 850x4Hx5G=17,000 円

【概算】5 グループ実施時：142,000 円